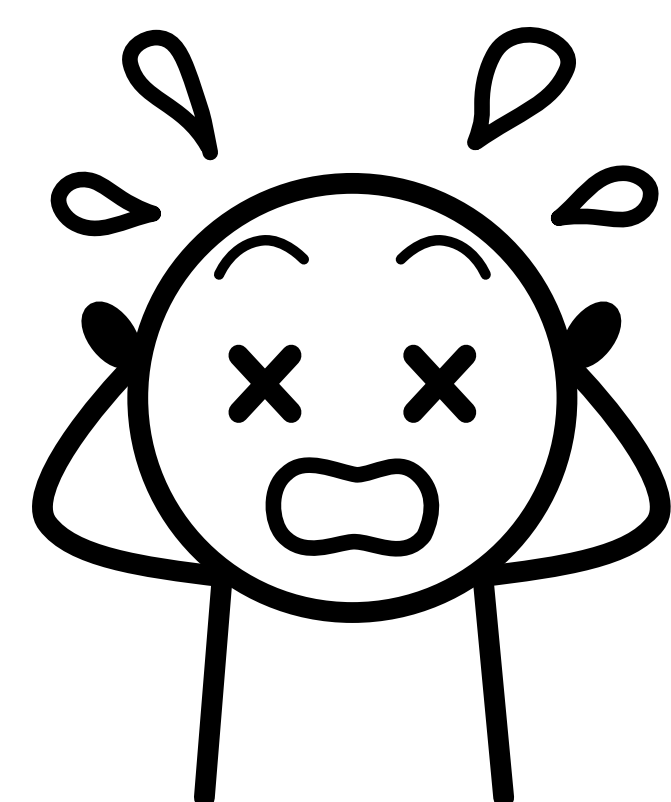


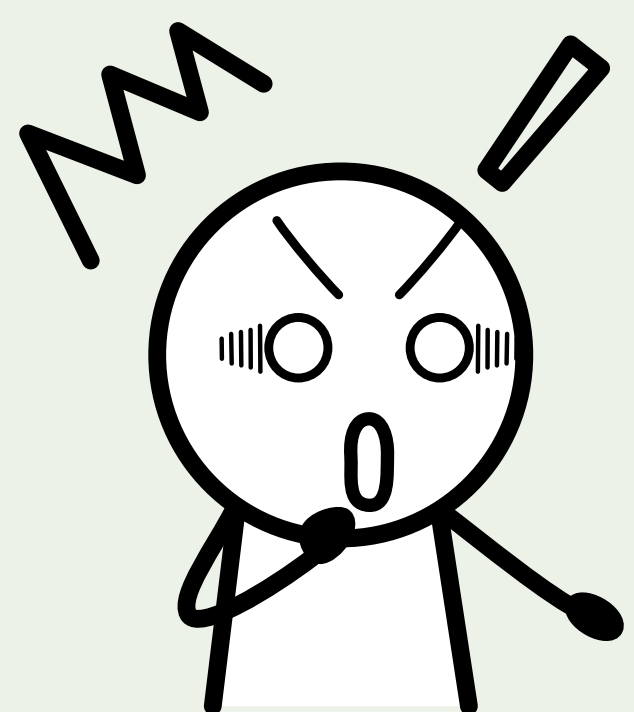
こんなこと
ありませんか？

急に新しい仕事が入られ
何から手をつけていいか
分からない

「AIで」と言われたけど
AI使って何をしたいか分からない



とりあえず過去の経験をもとに
自分ができるところをする！



残業...

作業効率down

作業の途中で
不足していた作業に気づく

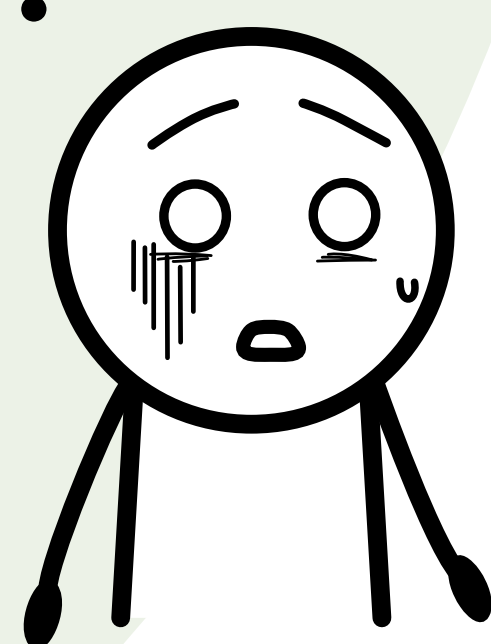
言われた通りに作ったのに

違うって
怒られる！



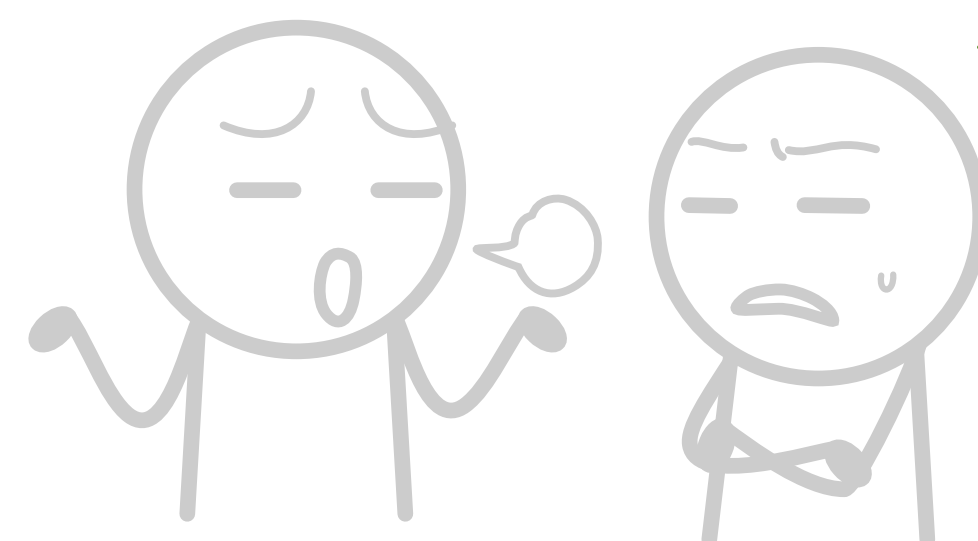
せっかく提供したのに...

不満を言われる



仕事が増えた！！
業務に合わない！

デグった！



業務の認識違いや理解不足が原因

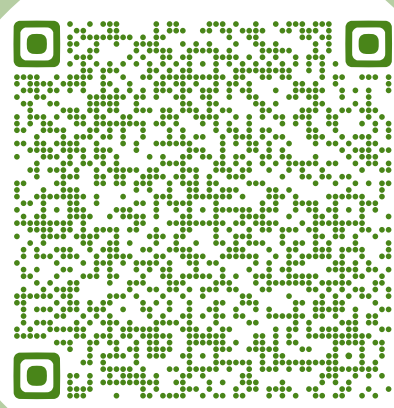
顧客の業務を理解し
問題を正確に捉えよう！

自分の業務を理解し
メンバーと認識を合わせよう！

業務理解にはPFD

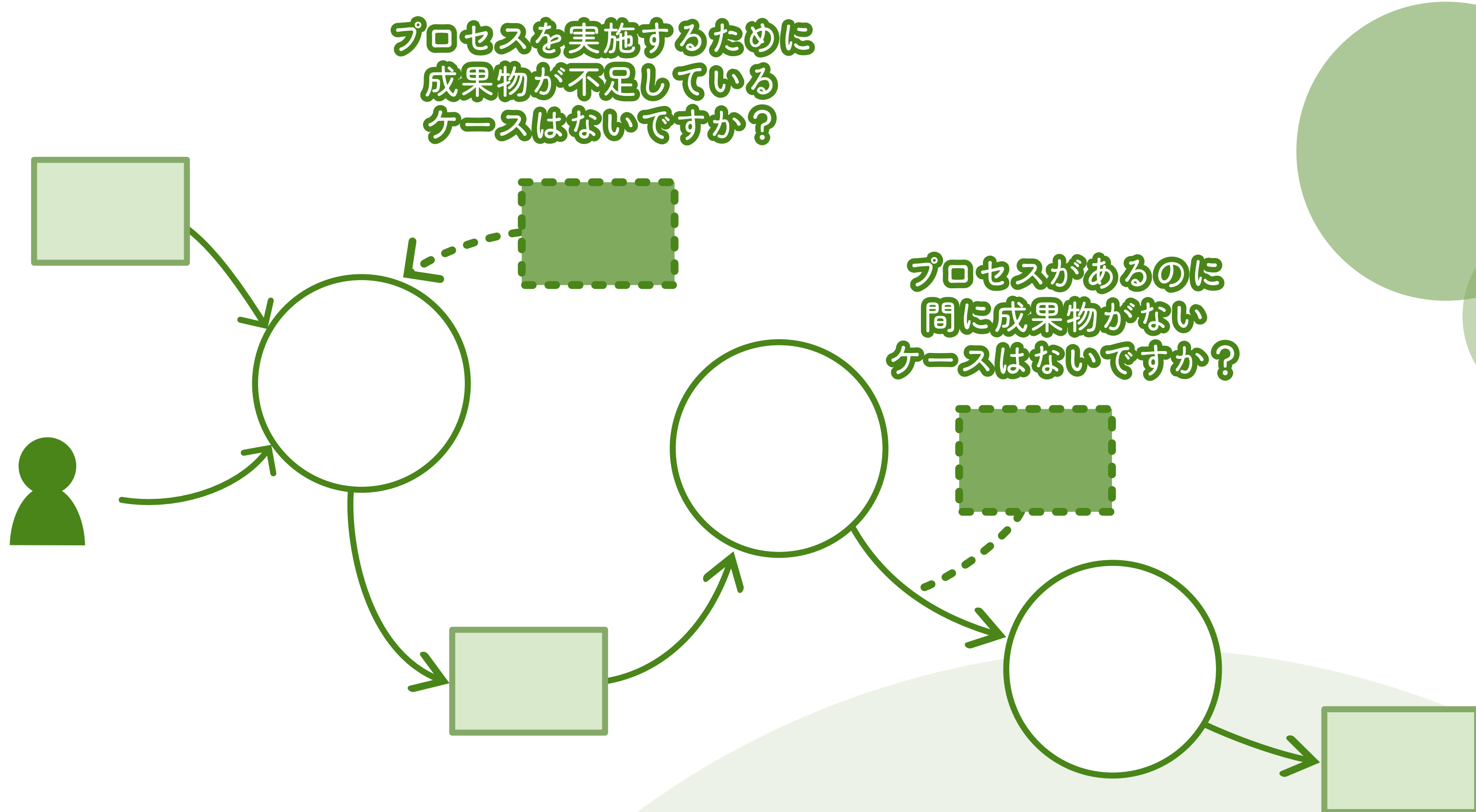


PFDの詳細は
こちらを参照



業務理解のため
正確でなくてもいいので、まずは

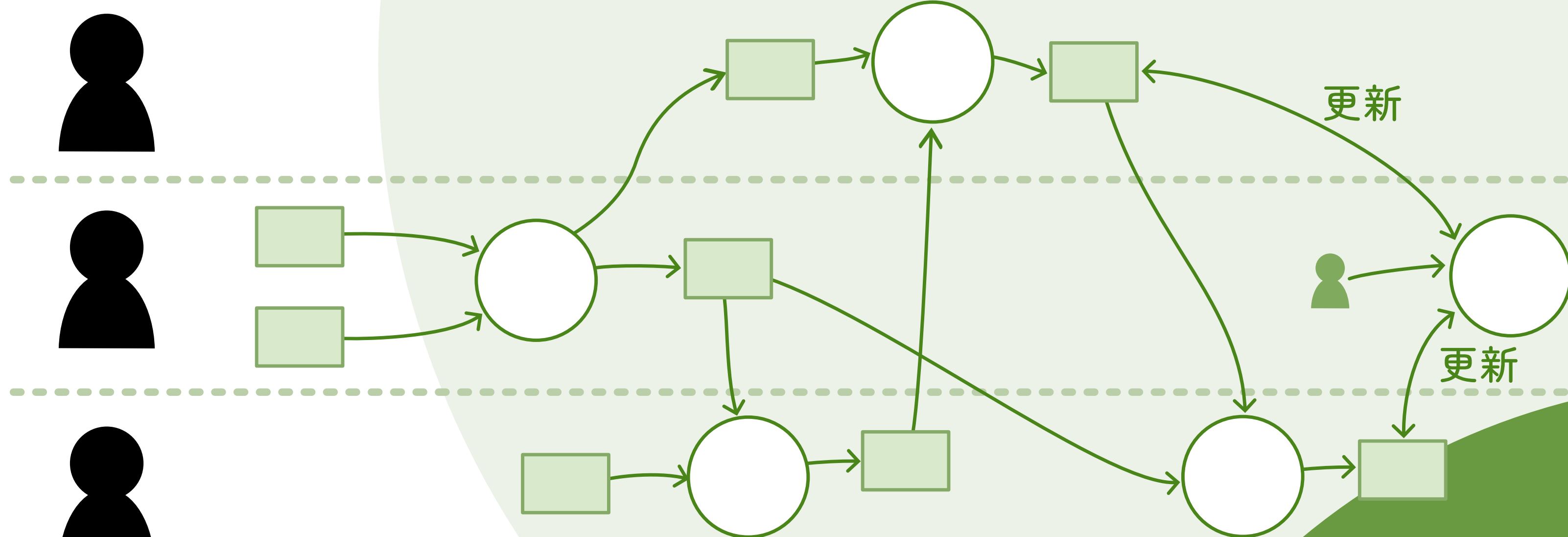
関係者（顧客やチームメンバー）で
PFDを使って
業務を棚卸してみよう！



並べて可視化してみるだけで
業務の理解が不足している箇所が分かる！



関係者が多ければ
スイムレーンを使うと
見やすいよ！



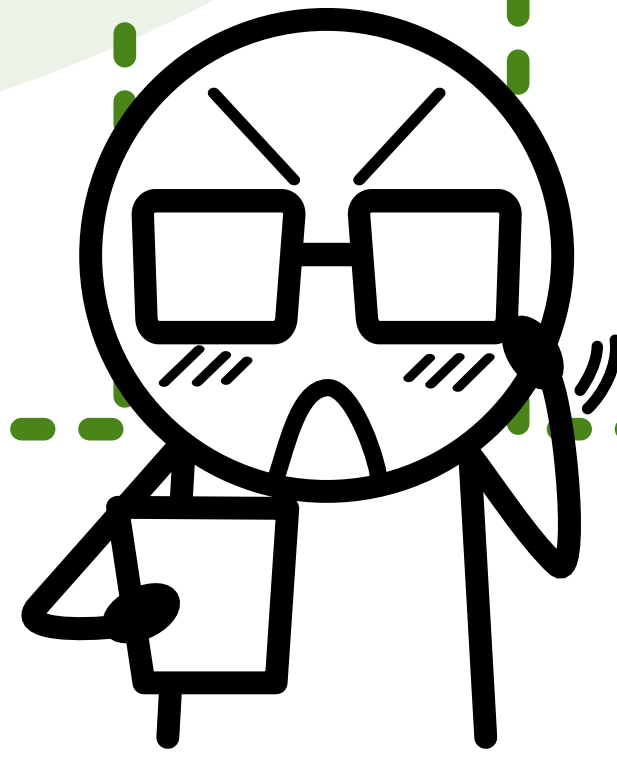
検証のポイント

機能的
合理性

経済的
合理性

- ・ 成果物の内容が狙い通りに生成される仕組みがある
- ・ 入力物が生成されるタイミングに食い違いがない
- ・ 適切なタイミングでプロセスが実施できる

- ・ 生成物が過大ではない（見積と組み合わせる）
- ・ 無駄なプロセスを経由していない
- ・ 生成のためのプロセスの工数が回収できる



PFDで業務を書いてみると
こんな良いことが！

- ・ 顧客の業務を理解できる！
 - ・ 自分の作業が明確になる！
- ・ 業務のムリ、ムラ、ムダがわかる
 - ・ メンバーの成長を促す！
- ・ AIやRPA導入の足掛りになる！
 - ・ プロセスをチケット化するとタスク管理もできる！

